



宇美町長
木原 忠



新年、明けましておめでとございます。町民の皆さまにおかれましては、清々しい気持ちで夢や希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、町政運営に際しまして、日頃から力強いご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

さて昨年は、年始めの1月に大寒波が到来し、当町でも多くの世帯が被害にあわれるなど、温暖な地域にありがちな寒波対策の弱さを経験した年でした。また、4月には熊本地震が発生し、被災地では多くの尊い生命が奪われました。そして、今もなお被災した混乱の真只中にある方がたくさんおられます。改めて心からお悔やみとお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を願う次第です。町としても、今回の地震やさまざまな災害を教訓としながら、今まで以上に災害対策に万全を期さなければならないと意を強くしているところです。

しかし、大変な出来事もあった一方で、中学校部活動では、体育・文化の両分野で素晴らしい成績を収めるなど、子どもたち

の活躍に元気をもらった年でもありました。また、大相撲の尾上部屋が当町に部屋を構え、力士の皆さんや大きなのぼりが町を鼓舞してくれるなど、明るい話題もありました。

今年は、こうした明るい話題が一つでも増えるよう、年頭からの第一歩を力強く踏み出さなければならないと思っています。

その大事な一歩となるのが、この4月から本格的にスタートする「小学校区コミュニティ」の取組だと考えています。未だ賛否両論ありますが、小学校区コミュニティを核として、各区長さんをはじめ、多くの住民の皆さんの間でいろいろな議論や取組が行われるなど、住民相互の交流を深める「うねり」が生まれたことは、大きな成果であったと確信しています。

この「うねり」が、今後の人づくり、地域づくりに向けた力強い原動力となりますよう、前を向いてしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

結びに、本年が全ての住民の皆さまにとりまして最良の年となりますよう、心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

平成29年

町長・議長

新年のご挨拶



宇美町会議長
白水 英至

あけましておめでとございます。町民の皆さまにおかれましては、夢と希望にあふれた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日頃より議会活動に對しまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

時は早いもので任期の最終年度を迎える年となりました。議員一丸となりまして、町の躍進のために頑張りたいと心に強く思うしだいであります。

さて、昨年は、議会として重要課題でありました、「安全安心なまちづくり」を推進するため、日々邁進してまいりました。4月に起きた熊本地震により、甚大な被害を受けた地域の方々には、議員一同心を痛め、復興に向けての支援をできる限り行つてまいりました。幸い当町におきましては、災害による大きな被害はなかったものの、自然災害に対する備えの大切さを痛感させられ、今後起こり得る想定外の出来事にも対応できるよう、地域での支え合い、また、防災意識を高めることなど、昨年に引き続き、町民の皆さまとともに地域防災の更なる充実を図ることを重要課題として取り組むべきであると強く感じております。

また、「安全安心なまちづくり」とともに、魅力ある町、住みたい町、町の活性化に向けて、「自然と歴史が調和したまちづくり」について、議会活動をすすめております。当町の歴史について勉強会などを開き、調査研究に取り組みながら、豊かな自然と誇れる歴史、あふれる貴重な財産を大切に守り続け、さらに有効活用できるよう、また、未来の子どもたちにとって受け継いでいけるのか、財政の厳しい中、費用対効果も考慮しながら議論を重ねてまいります。

我が国をめぐる情勢の変化に對して今後の予測は「層難しく、これから克服すべき課題は山積しています。当町の発展のため、課題解決に向けて日々努力を重ね、皆さまとともに歩んでまいりたいと思います。

議会といたしましては、議会改革・活性化を図りながら町民の皆さまの想いを行政に反映し、更なる町の躍進に努めていく所存でございます。どうぞ、今年も町民の皆さまのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆さまにとりまして、この一年が実り多い年となりますことを心より祈念いたしまして、年頭のあいさつとさせていただきます。